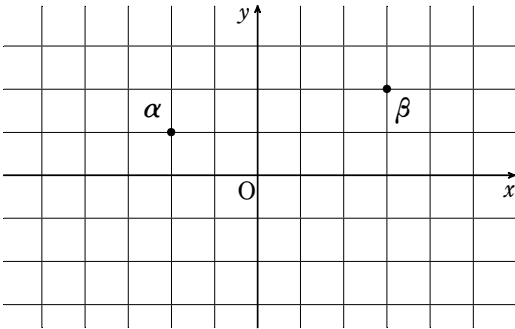


1 右の図の複素数平面上の点 α , β について, 次の点を図に示せ。

- (1) $\alpha + \beta$
- (2) $\alpha - \beta$
- (3) $\beta - \alpha$



2 次の 2 点間の距離を求めよ。 A $(5 + 4i)$, B $(9 + 2i)$

3 複素数 $-1 + \sqrt{3}i$ を極形式で表せ。ただし, 偏角 θ の範囲は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。

4 $\alpha = 2\sqrt{2}\left(\cos\frac{\pi}{4} + i\sin\frac{\pi}{4}\right)$, $\beta = 2\left(\cos\frac{\pi}{6} + i\sin\frac{\pi}{6}\right)$ のとき, $\alpha\beta$, $\frac{\alpha}{\beta}$ をそれぞれ極形式で表せ。ただし, 偏角 θ の範囲は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。

5 $z = 2 - 4i$ とする。点 z を原点を中心として $\frac{\pi}{6}$ だけ回転した点を表す複素数 w を求めよ。

6 $(\sqrt{3} + i)^6$ を計算せよ。

7 A $(3 - 4i)$, B $(-2 + 3i)$ とする。次の点を表す複素数を求めよ。
(1) 線分 AB を 2 : 3 に内分する点 C (2) 線分 AB の中点 M
(3) 線分 AB を 5 : 4 に外分する点 D

8 方程式 $z^3 = 8i$ を解け。

9 方程式 $2|z| = |z + 3|$ を満たす点 z 全体は, どのような図形か。

10 3点 $A(1)$, $B(-2+2i)$, $C(2-5i)$ に対して, 半直線 AB から半直線 AC までの回転角 θ を求めよ。ただし, $-\pi < \theta \leq \pi$ とする。

11 0 でない 2 つの複素数 α , β が等式 $4\alpha^2 - 2\alpha\beta + \beta^2 = 0$ を満たす。

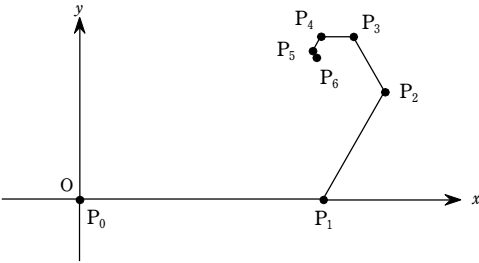
- (1) $\frac{\beta}{\alpha}$ を極形式で表せ。ただし, 偏角 θ の範囲は $-\pi < \theta \leq \pi$ とする。
- (2) 複素数平面上の 3 点 0 , α , β を頂点とする三角形の 3 つの角の大きさを求めよ。

12 n は自然数とする。複素数平面上に点 $P_0(0)$, $P_1(1)$, P_2 , P_3 , \dots を

半直線 P_nP_{n+1} から半直線 P_nP_{n-1} までの回転角が $\frac{2}{3}\pi$

$P_nP_{n+1} = \frac{1}{2}P_{n-1}P_n$

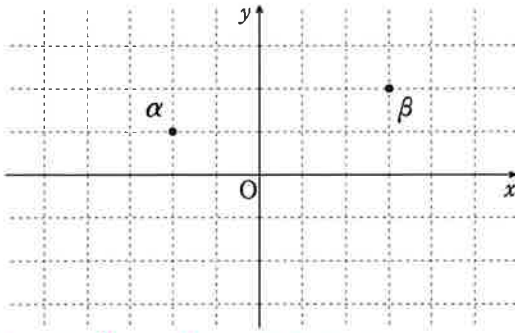
となるようにとる。このとき, 点 P_n を表す複素数を求めよ。



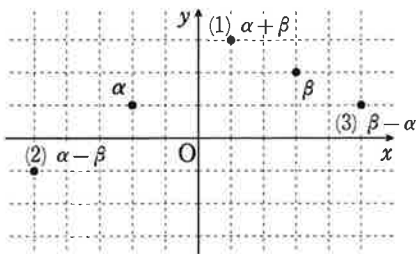
13 $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ とする。 $z = \cos \theta + i \sin \theta$ のとき, $\frac{1}{1-z}$ を極形式で表せ。
ただし, 偏角は 0 以上 2π 未満とする。

- 1 右の図の複素数平面上の点 α, β について、次の点を図に示せ。

- (1) $\alpha + \beta$
(2) $\alpha - \beta$
(3) $\beta - \alpha$



解説



- 2 次の2点間の距離を求めよ。 $A(5+4i), B(9+2i)$

解答 $2\sqrt{5}$ (5)

$$AB = |(9+2i) - (5+4i)| = |4-2i| = \sqrt{4^2 + (-2)^2} = \sqrt{20} = 2\sqrt{5}$$

- 3 複素数 $-1+\sqrt{3}i$ を極形式で表せ。ただし、偏角 θ の範囲は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。

解答 $2\left(\cos \frac{2}{3}\pi + i\sin \frac{2}{3}\pi\right)$ (5)

解説

$-1+\sqrt{3}i$ の絶対値を r とすると

$$r = \sqrt{(-1)^2 + (\sqrt{3})^2} = 2, \cos \theta = -\frac{1}{2}, \sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$0 \leq \theta < 2\pi \text{ では } \theta = \frac{2}{3}\pi$$

$$\text{よって } -1+\sqrt{3}i = 2\left(\cos \frac{2}{3}\pi + i\sin \frac{2}{3}\pi\right)$$

- 4 $\alpha = 2\sqrt{2}\left(\cos \frac{\pi}{4} + i\sin \frac{\pi}{4}\right), \beta = 2\left(\cos \frac{\pi}{6} + i\sin \frac{\pi}{6}\right)$ のとき、 $\alpha\beta, \frac{\alpha}{\beta}$ をそれぞれ極形式で表せ。ただし、偏角 θ の範囲は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。

解答 $\alpha\beta = 4\sqrt{2}\left(\cos \frac{5}{12}\pi + i\sin \frac{5}{12}\pi\right), \frac{\alpha}{\beta} = \sqrt{2}\left(\cos \frac{\pi}{12} + i\sin \frac{\pi}{12}\right)$

解説

$$\alpha\beta = 2\sqrt{2} \cdot 2\left\{\cos\left(\frac{\pi}{4} + \frac{\pi}{6}\right) + i\sin\left(\frac{\pi}{4} + \frac{\pi}{6}\right)\right\}$$

$$= 4\sqrt{2}\left(\cos \frac{5}{12}\pi + i\sin \frac{5}{12}\pi\right)$$

$$\frac{\alpha}{\beta} = \frac{2\sqrt{2}}{2}\left\{\cos\left(\frac{\pi}{4} - \frac{\pi}{6}\right) + i\sin\left(\frac{\pi}{4} - \frac{\pi}{6}\right)\right\}$$

$$= \sqrt{2}\left(\cos \frac{\pi}{12} + i\sin \frac{\pi}{12}\right)$$

- 5 $z = 2-4i$ とする。点 z を原点を中心として $\frac{\pi}{6}$ だけ回転した点を表す複素数 w を求めよ。

解答 $(\sqrt{3}+2) + (-2\sqrt{3}+1)i$ (6)

解説

$$w = \left(\cos \frac{\pi}{6} + i\sin \frac{\pi}{6}\right)z = \left(\frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{2}i\right)(2-4i) = (\sqrt{3}+2) + (-2\sqrt{3}+1)i$$

- 6 $(\sqrt{3}+i)^6$ を計算せよ。

解答 -64 (8)

解説

$$\sqrt{3}+i = 2\left(\cos \frac{\pi}{6} + i\sin \frac{\pi}{6}\right) \text{ であるから}$$

$$(\sqrt{3}+i)^6 = 2^6\left(\cos \frac{\pi}{6} + i\sin \frac{\pi}{6}\right)^6 = 64(\cos \pi + i\sin \pi) = -64$$

- 7 $A(3-4i), B(-2+3i)$ とする。次の点を表す複素数を求めよ。

- (1) 線分 AB を $2:3$ に内分する点 C (2) 線分 AB の中点 M
(3) 線分 AB を $5:4$ に外分する点 D

解答 (1) $\frac{5-6i}{5}$ (2) $\frac{1-i}{2}$ (3) $\frac{-22+31i}{5}$

解説

$$(1) \frac{3(3-4i) + 2(-2+3i)}{2+3} = \frac{5-6i}{5}$$

$$(2) \frac{(3-4i) + (-2+3i)}{2} = \frac{1-i}{2}$$

$$(3) \frac{-4(3-4i) + 5(-2+3i)}{5-4} = -22+31i$$

- 8 方程式 $z^3 = 8i$ を解け。

解答 $z = \sqrt{3}+i, -\sqrt{3}+i, -2i$ (6)

解説

z の極形式を $z = r(\cos \theta + i\sin \theta)$ ① とすると

$$z^3 = r^3(\cos 3\theta + i\sin 3\theta)$$

また、 $8i$ を極形式で表すと $8i = 8\left(\cos \frac{\pi}{2} + i\sin \frac{\pi}{2}\right)$

$$\text{よって } r^3(\cos 3\theta + i\sin 3\theta) = 8\left(\cos \frac{\pi}{2} + i\sin \frac{\pi}{2}\right)$$

両辺の絶対値と偏角を比較すると $r^3 = 8, 3\theta = \frac{\pi}{2} + 2k\pi$ (k は整数)

$$r > 0 \text{ であるから } r = 2 \text{ ②}$$

$$\text{また } \theta = \frac{\pi}{6} + \frac{2k\pi}{3}$$

$0 \leq \theta < 2\pi$ の範囲では、 $k = 0, 1, 2$ であるから $\theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi, \frac{3}{2}\pi$ ③

②, ③ を ① に代入して、求める解は $z = \sqrt{3}+i, -\sqrt{3}+i, -2i$

- 9 方程式 $2|z| = |z+3|$ を満たす点 z 全体は、どのような図形か。

解答 点 1 を中心とする半径 2 の円 (6)

解説

$$\text{方程式の両辺を } 2 \text{ 乗すると } 4|z|^2 = |z+3|^2$$

$$\text{よって } 4z\bar{z} = (z+3)(\bar{z}+3)$$

$$4z\bar{z} = (z+3)(\bar{z}+3)$$

$$\text{右辺を展開して整理すると } z\bar{z} - z - \bar{z} = 3$$

$$\text{式を変形すると } (z-1)(\bar{z}-1) = 4 \text{ すなわち } |z-1|^2 = 2^2$$

$$\text{したがって } |z-1| = 2$$

これは、点 1 を中心とする半径 2 の円である。

- 10 3点 A(1), B(-2+2i), C(2-5i) に対して, 半直線 AB から半直線 AC までの回転角 θ を求めよ。ただし, $-\pi < \theta \leq \pi$ とする。

解答 $\theta = \frac{3}{4}\pi$ (6)

解説

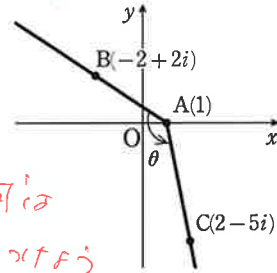
$\alpha=1, \beta=-2+2i, \gamma=2-5i$ とする。

$$\frac{\gamma-\alpha}{\beta-\alpha} = \frac{1-5i}{-3+2i} = \frac{(1-5i)(-3-2i)}{(-3+2i)(-3-2i)}$$

$$= -1+i$$

$$= \sqrt{2} \left(\cos \frac{3}{4}\pi + i \sin \frac{3}{4}\pi \right)$$

$$\text{よって } \theta = \arg \frac{\gamma-\alpha}{\beta-\alpha} = \frac{3}{4}\pi$$



- 11 0でない2つの複素数 α, β が等式 $4\alpha^2 - 2\alpha\beta + \beta^2 = 0$ を満たす。

(1) $\frac{\beta}{\alpha}$ を極形式で表せ。ただし, 偏角 θ の範囲は $-\pi < \theta \leq \pi$ とする。

(2) 複素数平面上の3点 0, α, β を頂点とする三角形の3つの角の大きさを求めよ。

解答 (1) $2 \left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right), 2 \left(\cos \left(-\frac{\pi}{3} \right) + i \sin \left(-\frac{\pi}{3} \right) \right)$ (5)

(2) $\frac{\pi}{3}, \frac{\pi}{2}, \frac{\pi}{6}$ (60°, 90°, 30°)

解説

(1) $\alpha \neq 0$ であるから, 等式の両辺を α^2 で割ると

$$4 - \frac{2\beta}{\alpha} + \frac{\beta^2}{\alpha^2} = 0 \quad \text{すなわち} \quad \left(\frac{\beta}{\alpha} \right)^2 - 2 \left(\frac{\beta}{\alpha} \right) + 4 = 0$$

$$\text{よって } \frac{\beta}{\alpha} = -(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4} = 1 \pm \sqrt{3}i$$

$1+\sqrt{3}i, 1-\sqrt{3}i$ をそれぞれ極形式で表すと

$$1+\sqrt{3}i = 2 \left(\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i \right) = 2 \left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right)$$

$$1-\sqrt{3}i = 2 \left(\frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2}i \right) = 2 \left(\cos \left(-\frac{\pi}{3} \right) + i \sin \left(-\frac{\pi}{3} \right) \right)$$

したがって

$$\frac{\beta}{\alpha} = 2 \left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right), 2 \left(\cos \left(-\frac{\pi}{3} \right) + i \sin \left(-\frac{\pi}{3} \right) \right)$$

(2) (1) より

$$\beta = 2 \left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right) \alpha$$

または

$$\beta = 2 \left(\cos \left(-\frac{\pi}{3} \right) + i \sin \left(-\frac{\pi}{3} \right) \right) \alpha$$

O(0), A(α), B(β) とすると,

$\beta = 2 \left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right) \alpha$ のとき, 点 B は, 点 A を原点を中心として $\frac{\pi}{3}$ だけ回転

し, 原点からの距離を2倍した点である。

$\beta = 2 \left(\cos \left(-\frac{\pi}{3} \right) + i \sin \left(-\frac{\pi}{3} \right) \right) \alpha$ のとき, 点 B は, 点 A を原点を中心として

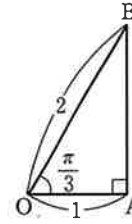
$-\frac{\pi}{3}$ だけ回転し, 原点からの距離を2倍した点である。

いずれの場合も, $OB=2OA$ であり, かつ $\angle AOB = \frac{\pi}{3}$ である。

したがって, $\triangle OAB$ は, $\angle OAB = \frac{\pi}{2}$ の直角

三角形であるから, 3つの角の大きさは

$$\frac{\pi}{3}, \frac{\pi}{2}, \frac{\pi}{6} \quad (60^\circ, 90^\circ, 30^\circ)$$

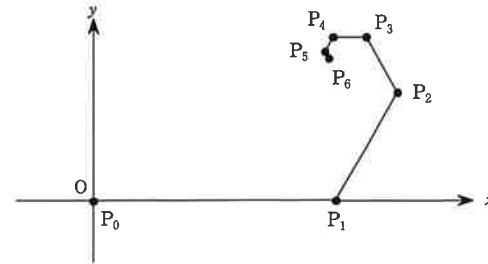


- 12 n は自然数とする。複素数平面上に点 $P_0(0), P_1(1), P_2, P_3, \dots$ を

半直線 $P_n P_{n+1}$ から半直線 $P_n P_{n-1}$ までの回転角が $\frac{2}{3}\pi$

$$P_n P_{n+1} = \frac{1}{2} P_{n-1} P_n$$

となるようにとる。このとき, 点 P_n を表す複素数を求めよ。



解答 $\frac{3+\sqrt{3}i}{3} \left\{ 1 - \left(\frac{1+\sqrt{3}i}{4} \right)^n \right\}$ (8)

解説

P_n を表す複素数を z_n とする。

P_n が原点に移るように平行移動して

P_{n-1}, P_{n+1} が移った点をそれぞれ

P'_{n-1}, P'_{n+1} とすると, P'_{n-1}, P'_{n+1} を

表す複素数は $z_{n-1}-z_n, z_{n+1}-z_n$ となる。

P'_{n-1} を原点中心に $-\frac{2}{3}\pi$

回転させて, 原点からの距離を

$\frac{1}{2}$ 倍にした点が P'_{n+1} であるから

$$z_{n+1}-z_n = \frac{1}{2} \left\{ \cos \left(-\frac{2}{3}\pi \right) + i \sin \left(-\frac{2}{3}\pi \right) \right\} (z_{n-1}-z_n)$$

が成り立つ。よって

$$z_{n+1}-z_n = \frac{1}{2} \left(-\frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2}i \right) (z_{n-1}-z_n)$$

$$= -\frac{1+\sqrt{3}i}{4} (z_{n-1}-z_n) = \frac{1+\sqrt{3}i}{4} (z_n-z_{n-1})$$

となる。 $z_{n+1}-z_n = w_n$ とおき, さらに $\alpha = \frac{1+\sqrt{3}i}{4}$ とおくと $w_n = \alpha w_{n-1}$ が成り立つ

ので, 数列 $\{w_n\}$ は公比 α の等比数列である。一般項は

$$w_n = w_1 \cdot \alpha^{n-1} = (z_2-z_1) \cdot \alpha^{n-1} = \alpha(z_1-z_0) \cdot \alpha^{n-1} = (1-0) \cdot \alpha^n = \alpha^n$$

となる。 $z_{n+1}-z_n = w_n$ であったから, $z_{n+1}-z_n = \alpha^n$ であり

これは数列 $\{z_n\}$ の階差数列の一般項が α^n であるので, $n \geq 2$ のとき

$$z_n = z_1 + \sum_{k=1}^{n-1} \alpha^k$$

$$= 1 + (\alpha + \alpha^2 + \dots + \alpha^{n-1}) = \frac{1-\alpha^n}{1-\alpha} = \frac{1}{1-\alpha} (1-\alpha^n)$$

この式は $n=1$ のときも, $n=0$ のときも成り立つ。

$$\text{ここで, } \frac{1}{1-\alpha} = \frac{1}{1-\frac{1+\sqrt{3}i}{4}}$$

$$= \frac{4}{4-(1+\sqrt{3}i)} = \frac{4}{3-\sqrt{3}i} \cdot \frac{3+\sqrt{3}i}{3+\sqrt{3}i} = \frac{3+\sqrt{3}i}{3}$$

であるから, 点 P_n を表す複素数 z_n は $z_n = \frac{3+\sqrt{3}i}{3} \left\{ 1 - \left(\frac{1+\sqrt{3}i}{4} \right)^n \right\}$

- 13 $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ とする。 $z = \cos \theta + i \sin \theta$ のとき, $\frac{1}{1-z}$ を極形式で表せ。

ただし, 偏角は 0 以上 2π 未満とする。

解答 $\frac{1}{1-z} = \frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2}} \left(\cos \frac{\pi-\theta}{2} + i \sin \frac{\pi-\theta}{2} \right)$ (2)

解説

$$\frac{1}{1-z} = \frac{1}{(1-\cos \theta) - i \sin \theta}$$

$$= \frac{1}{2 \sin^2 \frac{\theta}{2} - 2i \sin \frac{\theta}{2} \cos \frac{\theta}{2}}$$

$$= \frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2} \left(\sin \frac{\theta}{2} - i \cos \frac{\theta}{2} \right)}$$

$$= \frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2} \left(\cos \frac{\theta}{2} + i \sin \frac{\theta}{2} \right) \cdot (-i)}$$

$$= \frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2} \left(\cos \frac{\theta}{2} + i \sin \frac{\theta}{2} \right) \left\{ \cos \left(-\frac{\pi}{2} \right) + i \sin \left(-\frac{\pi}{2} \right) \right\}}$$

$$= \frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2} \left\{ \cos \left(\frac{\theta}{2} - \frac{\pi}{2} \right) + i \sin \left(\frac{\theta}{2} - \frac{\pi}{2} \right) \right\}}$$

$$= \frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2}} \left(\cos \frac{\theta-\pi}{2} + i \sin \frac{\theta-\pi}{2} \right)^{-1} = \frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2}} \left(\cos \frac{\pi-\theta}{2} + i \sin \frac{\pi-\theta}{2} \right)$$

ここで, $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ より $\frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2}} > 0$ であるから $\frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2}}$ は $\frac{1}{1-z}$ の絶対値である。

また, $\pi-0 > \pi-\theta > \pi-\frac{\pi}{2}$ より $\frac{\pi}{2} > \frac{\pi-\theta}{2} > \frac{\pi}{4}$ より偏角 $\frac{\pi-\theta}{2}$ は 0 以上 2π 未満で

ある。ゆえに $\frac{1}{1-z}$ の極形式は $\frac{1}{2 \sin \frac{\theta}{2}} \left(\cos \frac{\pi-\theta}{2} + i \sin \frac{\pi-\theta}{2} \right)$